

ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その31

このシリーズその2で取り上げた、滋賀県近江八幡市の「ラ・コリーナ」ですが、さらに施設が拡大し「草屋根」の裏手に、水田や屋根付の回廊様々なショップに加え、写真の「たねや本社」も完成しました。藤森氏らしい、木造に見える平屋から、銅で覆われたユーモラスな形の突起物が突き出し、あたかも「見張り塔」のように、全体を見下ろしています。

CURRENTLY WORKS



医療モールの計画も進めています！

当社では、クリニックや調剤薬局の個別施設を数多く手掛けていますが並行して、いくつかの医療モールの計画も進めています。しかし、規模が大きくなると、様々な懸案事項が重なり、安易に進んで行かないのが実情です。当社の培ったノウハウとデザインを活かした、個性的な医療モールを実現させるために、日々、計画を練り直し密度を高めています。

PRIVATE TOPICS



藤原のこだわり その7

京都東山の智積院です。中国の廬山をモデルにかたどったとされる小規模ながらも高低差のある迫力ある庭です。池が建物の縁側の下にまで入り込んでいるので、建物と庭の一体感をより感じるすることができます。さらに建物内から庭を見ると、正面にそそり立つ山肌が迫力あります。特にツツジの咲く季節がお薦めで、四季折々の美しさを堪能できます。

EDITIONAL NOTE

2月は「如月」…これを「きさらぎ」と読むのは難しいですが、別名で「衣更月」や「来更来」もあるのでなんとなく読めそうです。他に「草木張月」「梅見月」「初花月」「雪消月」など、景色が浮かびそうです。英語の「フェブラリー」は、ローマ神話に登場する「フェブルウス」を祀る祭事の時季からだそうです。

編集担当：太田・藤原